

日刊 動労千葉

81.10.7
No.863

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇五五（二二）七二〇七



いよいよ十・一一三里塚現地闘争が真近かに迫った。われわれは、十月九日～十日に開催される第六回定期大会を圧倒的に成功させ、そして、この力で全支部から最大限動員をもって三里塚現地に結集しようではないか。今や、三里塚二期着工攻撃が強まる中で、十・一一現地闘争こそは、八一年秋から八二年にかけて情勢を大きく左右する闘いとして圧倒的にかちとられなければならない。動労千葉は、この間、青年部を中心に十・一一にむけて、街頭宣伝・沿線個別ピラ入れ行動など創意ある宣伝活動を展開し、あらゆる階層の人々に三里塚闘争の重大性と十・一一への結集をよびかけてきた。

10.11 三里塚へ！ 青年部中心、駅前・沿線で 千葉駅前 宣伝行動を展開

幕張本郷駅で早朝ピラまき
幕張支部青年部は、この間、「日刊」の発刊以来約二年余の間、一日もかかさず、職場への「日刊」配布行動を行ってきたが、十月一日は、国鉄三五万人体制攻撃の一環として最も合理化された「幕張本郷駅」の開業にあたり「十・一一三里塚へ」むけた早朝ピラまき行動を行なった。

本部青年部は、去る九月二十六日、十月五日の両日、国鉄千葉駅頭においてそれぞれ約三〇名の青年部員の動員をもって、「十・一一三里塚へ」「三里塚二期着工阻止」「軍事大国化・改憲阻止」などのゼッケンを着用し、「空港粉碎」のはち巻をしめ、ピラまき・支援基金カンパ行動を展開。宣伝カーには、「三里塚二期決戦勝利、軍事大国化阻止、十・一一三里塚へ」と大きく書かれた横断幕を垂らし、動輪旗を高々とかけ、ポリウム一ぱいに上げたスピーカーを通して、労働者・市民・学生に熱烈に訴える。

路上では、青年部員がつぎつぎとピラを手渡す。権力は、「宣伝カーを移動しろ」などと執りよるな妨害・介入を行なってきたが断固たる街頭宣伝行動の前に一指もふれることが出来なかった。



首都圏通勤労働者によびかける 津田沼の大看板



成田駅頭で成田・佐倉両支部青年部合同で
宣伝行動を展開、（九月九日・十九日・二十九日・五日）
成田市内・ジェット沿線個別ピラ入れ（十月四日・五日）
成田・佐倉青年部合同で

成田支部青年部は、去る九月九日に引き続き十九日・二十九日と連続した十・一一三里塚へむけた成田駅頭宣伝行動を展開した。

特に九月二十九日は、佐倉支部青年部と共に約二〇名の青年部員が結集して合同宣伝行動を展開。成田支部青年部は、毎回新しいピラを作り、市民・住民に訴えた。

さらに十月四日・五日の両日、成田市内、特に騒音地区、さらにジェット輸送沿線住民への個別ピラ配布を行ない、「三里塚空港に反対し、十・一一闘争へ共に立ち上ろう」と訴えた。

このピラは、①三里塚闘争を知っていますか。②空港についてどう思いますか。などアンケートとして支部に返送してもらいよりになっている。

